

# EPIPHANY TIMES

No.162 MAY.2024 / SINCE MAY.2010

## 「あなたがたを友と呼ぶ」

キリスト教主義学校・同志社の創設者である、新島襄（にいじま じょう）という明治時代のキリスト者は、学生たちに「私を『先生』と呼んでくれるな」と言っていたそうです。

聖書の箇所（マタイ23:8）に、イエスが「あなたがたは『先生』と呼ばれてはならない」と書かれてあるからとも思われます。書いてあるからだと思われます。そうして、神の御前では教師と学生が対等な人間であるということを伝えようとしていたんですね。【そんな新島襄だからこそ、同志社では、今でも尊敬を込めて、新島先生と呼ばれています😊。素敵なことですね】。以前、私が当教会の牧師だった時、教会で先生は、牧師である



藤井司祭、お一人ですから、教会では、私を先生と呼ばないで下さい」とお願いに来られたある信徒の方を思い出します。その方は、誰もが認める姫路顕栄教会の重鎮であり、社会的にもその職業上、尊敬を込めて先生、先生と呼ばれていた方です。その方は、今は天国の教会員ですので、残念ながら「あの時の言葉の意味は・・・」と直接お目にかかってお伺いすることはできないのですが、きっと「それは、教会

に集う私たちは、みんな、神の御前での兄弟姉妹、それが、神の家族なのですから」と優しく教えて下さるような気がしています。もちろん、信徒のみなさんが、お互いをどのように呼び合われるかは、全くの御自由ですし、そんなことをとやかく言うのも、これも困った教会の権威主義です。言うまでもなく牧師として私のことは～司祭であるという理由～で「藤井先生」とお呼び下さってOKです。それは、教会が大切にしてきた、信徒としての信仰に基づく、美しい敬神行為の表現なのですから。

追：教育現場である聖ミカエル幼稚園では、私は尊敬を込めて「～先生」とお呼びいたしております。大学のチャプレン時代もそうでした。教師である、教諭であるとは、そういうことです。大切なことは、神さまご自身（イエスさま）が、すべての人「友」と呼ばれたこと。この聖書のみ言葉を、みなさんは、どのように、お受け取りになりますか。

司祭 マルコ 藤井 尚人



日本聖公会

姫路顕栄教会

〒671-1152 姫路市広畑区小松町4-36

URL <https://himeji-epiphany.org>



## 【5月の予定】

☆5月の日曜学校 9時30分～

5月5日(日):紙ひこうき作り

5月19日(日):未定

☆5月のガール・スカウト 9時30分～

5月12日(日):川まつり準備

5月26日(日):フライアップ&総会

☆5月の聖書研究会 10時30分～

5月7日(火):立ち上がる力(ルカ22:32)

5月14日(火):道は開かれる(ルカ11:9)

5月21日(火):時を待つ(コヘレト3:1)

5月28日(火):見分ける賢さ(イザヤ30:15)

『あなたはあなたのままでいい～とおきの聖書の言葉～(片柳弘史神父・PHP2023)』をテキストに、聖書のみ言葉を黙想し、別ち合っています。テキストは教会で用意いたします。どなたでもお気軽に、ご参加下さい。時間は10時30分から約1時間の予定、会場はエピファニーホール(当教会入ってすぐの部屋)です。

☆第4回ひとり親家庭支援プログラム(姫路グローバルワイズメンズクラブ)5月25日(土)  
9時～12時30分 聖堂1階調理室

## 聖霊降臨日(ペンテコステ)

～豆知識 by Naoto～

皆さんは聖霊降臨日の祭色をご存じですか?聖霊の炎の色にちなんで赤色です!なので、5月19日は皆様も何か赤いものを身につけて出席して下さいれば幸いです(^^)



↑『聖霊降臨』エルグレコ作(1596～1600作)  
マニエリスムの巨匠です

## お帰りなさい 藤井司祭!

4月7日(日)藤井尚人司祭による6年ぶりの主日礼拝が行われました。ユーモアたっぷりのお話で、「そう、これこれ」としみじみとしました。これからのわたしたちの歩みがみこころに合うものとなりますようにと、一緒にお祈りいたしました。

礼拝後、藤井司祭ご夫妻の歓迎パーティーで、とても楽しいひとときを過ごしました。

-----  
懐かしい司祭の声が聞けてうれしかったです。「ミカエルファミリー」として新年度からもよろしくお願いします!

信徒より



## 【編集後記】

みこころにかないますように  
ミカエル 渋谷 健

私は絵を描くことが昔から好きです。本紙においても挿絵を描かせていただきましたが美大を卒業するころの私は絵を描く目的を見失っていた時期がありました。

そんな中、教会に通い、聖書に触れることで人間の作者がおられることを知り、その方がどれだけ自分を愛してくださっておられるのかを知りました。今では自分の作品が神様の栄光を顕すものでありたいと日々思っております。これからも読者の皆さんにお楽しみいただければ幸いです+

構成・編集 ミカエル 渋谷 健  
発行責任者: 牧師 司祭 マルコ 藤井 尚人